

第十五課

もし、ふたりが心を合せるなら

集団の祈りの力

「まことに、あなたがたにもう一度、告げます。もし、あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます。ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。」

(マタイ一八・一九、二〇)

主の祈りの学校における最初の学課の一つは、人に見られないように密室に入り、御父と二人だけになることでした。主は、祈りの意義が、神との個人的接触にあることを教えられて、次の学課、すなわち、隠れたところで一人きりになるだけでなく、集団で祈ることについて教えられるのです。ここで主は、二人か三人が心を一つにして同じことを求める集団の祈りについて特別な約束を与えてくださいました。木の根が地中に隠れ、幹は日の光にあたって生長するように、たましいも神と二人きりになる隠れたところで成長すると同時に、イエスの御名によって集まる

たましいも神と二人きりになる隠れたところで成長すると同時に、イエスの御名に、

公の交わりによっても成長します。

その理由ははっきりしています。人を神に結びつけるものが、また、人をその仲間結びつけるからです。信仰者は一人ではありません。恵みは、私たちの神との関係だけでなく、人との関係も新しくしてくださいました。私たちは、「私の父」と呼ぶだけでなく、「私たちの父」と呼ぶことも学びました。家族の中で、子供がそれぞれ別に父親に会うだけで、共通の願いや愛を表すことをしないとしたら、奇妙なことです。信徒は家族の一員であるだけでなく、一つの体の肢体です。体の各部分が互いに依存し合っているように、あるいはまた、体に宿っているたましいが、体全体の協力一致によっているように、クリスチャンも、互いに一致して求めるのでなければ、御霊によって神が与えてくださる祝福を完全に自分のものにすることはできません。信徒の一致と交わりのあるところに、御霊は完全な御力を発揮なさるのです。御霊が栄光の主の御座からくだったのは、百二十人が一つ所で、心を合せて祈り続けたからです。

真に一致した祈りの特徴は、冒頭の聖句に示されています。第一は、求める事柄について心を一つにすることです。それには、求める事柄についてただ同意するだけでなく、明確な一致した願いがなければいけません。すなわち、どんな祈りの場合でも、霊と真においての一致でなければなりません。そのように心を一つにすることによって、自分たちは一体何を求めているのか、確信をもってみころにかなうことを求めているのか、あるいはまた、求めているものをすでに

与えられたと信じる用意はできているのかなどが、はっきりしてきます。

第二の特徴は、イエスの御名によって集まることです。イエスの御名によって祈ることの必要と力については後に学びますが、ここで主が教えようとされていることは、家庭がそこに住む者をつつにするように、御名が、信徒の集いの一致を保つ中心となり、信徒をつつにするということです。「主の名は堅固なやぐら。正しい者はその中に走って行って安全である。」御名は、御名を理解し信じる者にとってはこのように実際のなので、御名によって集まることは、御自身をそこにお迎えすることなのです。弟子たちの愛と一致は、イエスにとっては無限の引力でした。「ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。」一致の祈りに力を与えるものは、祈っている弟子たちの中におられるイエスの臨在です。

第三の特徴は、確かな答です。「天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます。」宗教的な交わりを持続したり、自分たちの徳を高めるためにする祈り会にもそれなりの意義はあるでしょう。しかし、それは、救い主が意図されたことではありません。主のみこころは、祈り会が祈りの答を確保する手段となることでした。祈りが聞かれることがない祈り会というのは異常です。だれでも明らかな求めを持ちながら、それに対して信仰を働かせることで自分の弱さを感じている者がいたら、他の人の助けを借りて力を与えられなければなりません。信仰と愛と御霊の一致するところでは、御名の力とイエスの臨在がより自由に働き、答はより確実に与えられ

ます。真に一致した祈りの特徴は、その結果、すなわち、自分が求めたものの答です。「あなたがたに告げます。天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます。」

これは、一致の祈りの、言うことのできないほどの特権であります。また大きな力です。もし、信者である夫婦が御名によって結ばれ、心一つにして祈り、主の臨在と力を経験したらどうなるでしょう（「ベテロ」）。もし、友人同士が、二人か三人で一つになって祈る時に、互いにどんな強力な力を及ぼすことができるかを信じたとしたらどうなるでしょう。すべての祈り会において、御名によって集まること、御臨在を信じること、答を期待することが先に立っていたらどうなるでしょう。もし、すべての教会において、心一つにした効果的な祈りこそが、団体の主目的、教会としての力を最高に發揮できるものと考えたとしたらどうなるでしょう。もし、世界中の教会において、御国の到来、主の御再臨、すなわち、聖霊の力強い油注ぎに続く栄光の体を持った御自身の御再臨が、神への一致した叫びとなっていたとしたらどうなるでしょう。このように、神が約束を成就してくださることを認めることに同意した人々に対してすばらしい祝福が与えられないはずはありません。

私たちは、使徒パウロにおいて、一致の祈りを信じる信仰がどれほど実際的なものであるかを見ます。パウロは、ローマの信徒たちにかこう書いています。「兄弟たち。私たちの主イエス・キリストによって、また、御霊の愛によって切にお願いします。私のために、私とともに力を尽くし

て神に祈ってください」(二五・三〇)。パウロは、祈りの答として敵から救い出され、自分の働きが成功することを期待しました。コリントの信徒には、「あなたがたも祈りによって、私たちを助けて協力してくださいるでしょう」と書いています(Ⅱコリント一・一二)。コリントの信徒の祈りが、パウロを助け出す本当の力となるべきだったのです。エペソの信徒にはこう書いています。「すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。……すべての聖徒のために、……また、私が口を開くとき、語るべきことばが与えられるように……祈ってください」(六・一八―二〇)。パウロは、自分の宣教活動の力と成功を、エペソの信徒の祈りにかけました。また、ピリピの信徒とともに、自分の受けた試練が、彼らの「祈りとイエス・キリストの御霊の助けによって」自分の救いとなることを期待しました(一・一九)。コロサイの信徒には、たゆみなく祈りなさいという命令に加えて言いました。「同時に、私たちのためにも、神がみことばのために門を開いてくださって、私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください」(四・三)。そして、テサロニケの信徒には、こう書きました。「終わりに、兄弟たちよ。私たちのために祈ってください。主のみことばが、あなたがたのところと同じように早く広まり、またあがめられますように」(Ⅱテサロニケ三・一)。このように、パウロは、自分も体の一部であると考え、人々の同情と協力を頼りにしました。このことは、どこを見ても明らかです。パウロは、これらの教会が自分のためにささげる祈りが、自分にとって益となることを期待しています。

あがめられますように」
考え、人々の同情と協力を頼りにしました。このことは、どこを見ても明らかです。これは、これらの教会が自分のためにささげる祈りが、自分にとって益となることを期待してしま

た。パウロにとって、教会の祈りは、御国のみわざを進める時の神の力の真の原動力だったので

す。
もし教会が、御国の到来と、神の力がそのしもべとみことばの上に注がれることと、たましいが救われて神の栄光が現されることを昼も夜も祈り続けるなら、どんなに大きな力を生み、また行使できるようになるでしょうか。ほとんどの教会は、自分たちが一つに集められているのは、互いに面倒を見合い、互いを建て上げていくためとしか考えていません。彼らは、神が聖徒たちの祈りによって世界を支配しておいでになることを知りません。また、祈りがサタンを征服する力であることも知りません。また、祈りによって、この世にある教会は、天の力を自由に行使できることも知りません。彼らは、イエスが、約束に従って、あらゆる集会を御名によって聖別し、天国への入口としてくださることを忘れてしまっています。そのような集まりにおいてこそ、イエスの臨在が感じられ、また、御父が願いを成就してくださることによってイエスの御力を経験することができなのです。

私たちは、恵まれた祈りの週間のことを、いくら感謝してもし切れないものです。このような一致した祈りの時は、私たちの一致と信仰の証拠、また世界の教会の必要にまで心を広げる訓練の学校となります。更に心を一つにして忍耐強く祈る祈りの助けとして、言い尽せないほどの価値があります。こうしたことは、特に、小さな集いで心を一つにして祈ることへの刺激として

も、大きな祝福となるものです。神の民の全員がイエスの御名によって集まり、聖霊によって結ばれた一つの体の真中にイエスの臨在を迎え、求めるものは、御父が必ず与えてくださるという約束の成就を大胆に宣言します。こうすることが何を意味するかを神の民が認めるなら、祝福は更に大きなものとなるでしょう。

恵み深い主よ。あなたは、大祭司としての祈りの中で、あなたの民が一つになることを強く願われました。そして、グループの祈りに対してくださったあなたの尊い約束によって、私たちをこの一致へと招き、勧めておられます。私たちが愛と願いにおいて一つとなる時に、私たちの信仰は、あなたの臨在と御父の約束を与えられます。

ああ、御父よ。あなたの民と小グループのために祈ります。彼らが一つとなるように。

あらゆる利己心、私欲、偏狭な心、仲たがいを取り去ってください。それが一致の妨げとなるからです。世と肉の心を除いてください。あなたの約束が力を失うからです。あなたの臨在と御父の恵みを思い、私たちすべてがより親密になりますように。

恵み深い主よ。天において結び、また解くのも、サタンが追放されるのも、たましいが救われるのも、山が動くのも、御国の到来が早くなるのも、一致した祈りの力によることを教会が認め

ることが出来ますように。恵み深い主よ。私がともに祈るグループの中で、教会の祈りが実際に力となり、御名とみことばがあがめられますように。アーメン。